

議題（1）

令和6年度第1回地域協議会の協議状況等について

<資料目次>

- 1 令和6年度第1回秋田県地域職業開発促進協議会【概要】……………P1
- 2 前回協議会における委員発言要旨及び対応方針・取組状況(予定含む) ……P2～8
(参考)オンライン助成金説明会について(前回資料より)……………(P6)

1 令和6年第1回秋田県地域職業能力開発促進協議会【概要】

【開催状況】 ○日時 令和6年11月12日（火） 13:30～15:15
○場所 アキタパークホテル2F

【主な提案内容】

(1) 「令和6年度秋田県地域職業訓練実施計画」関係報告

(2) 令和5年度第2回地域協議会・協議状況について

(3) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループ報告について

- ◆介護・福祉分野のイメージを周知・広報で福祉人材の確保に努めてほしい。
- ◆介護の職場見学や実習は、いろいろな事業のパターンで経験することが望ましい。
- ◆介護職員初任者研修の訓練を受講できれば高齢者も就職しやすいと考える。 等

(4) 公的職業訓練の実施状況と課題（訓練ニーズを含む）について

- ◆労働力不足とともに、幅広い業種において、デジタル人材を確保したいとの声が多い。
- ◆人材のミスマッチをデジタル活用しながら解決しようとする考えもある。
- ◆福祉人材に関する資格を取得する講座が少ないと感じる。ニーズに応じて可能なものは追加してほしい。
- ◆可能であれば、受講者数や給付額が少ないことの分析を行ってほしい。 等

(5) 教育訓練給付制度における地域ニーズの把握等について

- ◆今回のアンケート結果の制度の認知度4割について、労働者本人へ直接周知することが難しいため、事業所経由で労働者へ提供する方法を検討いただきたい。 等

(6) 令和7年度秋田県地域職業訓練実施計画の策定方針について

- ◆今年度の秋田県職業訓練計画には、介護やITは入っているが、建設土木関係もミスマッチがあって困っているため、建設業が女性登用やIT化を進めていることを踏まえた訓練内容も入れられた良いと思う。 等

2 前回協議会における委員発言要旨及び対応方針・取組状況（予定含む）①

(1) 地域の人材ニーズの把握

<意見等>

- 企業側と従業員側それぞれが考える「伸ばしたい能力」のミスマッチの解消が必要。
その際、就職や昇給のしやすさなどの双方のニーズが合致するように、企業・労働者いずれに対しても情報提供する必要がある。
- 労働力不足や人材のミスマッチをデジタル活用により解決できるようデジタル人材の育成が望まれる。
- 秋田県では、介護助手で構わないので介護の現場で働きたいという方が他県に比べて少ない気がする。
介護職員初任者研修を取得できる訓練を提供した方が、高齢者も参入しやすいのではないか。

<対応方針>

- 地域ニーズや企業ニーズに対応した訓練受講事例や人材育成支援などの事例を収集することを検討。
参考となる事例を求人者マイページを通じて情報提供することも併せて検討する(事業所へ周知するとともに、事業所を通じて労働者にも提供できるよう検討)。 →資料No.3～P.10-3(3)
- デジタル人材の確保や人材育成に関しては、課題解決ができるよう、昨年度同様に、令和7年度職業訓練実施計画へ反映させる。 →資料No.3～P.6-2(1)イ、資料No.3～P.10-3(3)①
- 事業主団体等と連携して、助成金制度を含め、人材育成に関する各種支援制度の周知・広報に取り組む。
→資料No.3～P.10-3(3)③
- 介護分野を希望する高齢者を介護職員初任者研修受講へ誘導できるよう、ハローワークの生涯現役相談窓口やシルバー人材センターから受講者の誘導ができるよう協力いただくなど、連携して受講促進に取り組む。
→資料No.3～P.17-5(1)ウ



令和7年度職業訓練実施計画へ反映

(2) 公的職業訓練の実施状況の検証

<意見等>

- 労働力人口が減っていく中、生産性向上がポイントとなるため、多くの企業へ、人材確保及び生産性向上のため学び直しを提案することがベターである。

<対応方針>

- SNSやホームページなどの広報に加えて、助成金、教育訓練給付制度など各種支援策を直接事業所へ周知するとともに、ハローワークシステム・求人者マイページを活用して周知する。* 情報掲示先URL添付
→資料No.3～P.10-3(3)
- 事業主団体等と連携して、助成金制度を含め、人材育成に関する各種支援制度の周知・広報に取り組む。
→資料No.3～P.10-3(3)



令和7年度職業訓練実施計画へ反映

(3) 訓練効果の把握・検証等

<意見等>

- 介護現場への高齢者の雇用に関して、労働条件の緩和による就職の可能性などを前向きに分析できている。
- 介護分野ではそのキャリアパスが明確でなく、何年たっても給料は同じイメージがあるため、介護サービス事業所の秋田県認証を受けられるようキャリアパスをしっかり構築してほしい（訓練受講後の受け入れ先の改善）。
- 職場見学や実習は、入所施設だけでなく、通所や訪問介護事業なども経験することが望ましい。
- 介護分野を目指す高齢者には、最低限、介護職員初任者研修の受講が望ましい。

<対応方針>

- 介護施設の訓練前や応募前見学（オンラインを含む）の実施内容を充実させる。
→資料No.3～P.9-3(1)、→資料No.3～P.12-4(1)ア②
- 職場実習を含むデュアル型の訓練を実施できるようR7年度訓練計画へ反映させる。
→資料No.3～P.12-4(1)ア②
- 介護分野のイメージアップに関して、関係機関と連携して施策等の周知を充実させる。
（介護人材確保事業と職業訓練事業が連携して、秋田県認証を受けた介護サービス事業所の71事業所からロールモデルとなる事例を収集する） →資料No.3～P.17-5(1)エ
- 介護分野を希望する高齢者を介護職員初任者研修受講へ誘導できるよう、ハローワークの生涯現役相談窓口やシルバー人材センターから受講者の誘導ができるよう協力いただくなど、連携して受講促進に取り組む。
→資料No.3～P.17-5(1)ウ



令和7年度職業訓練実施計画へ反映

(4) その他の職業能力開発促進のための取組

<意見等>

【在職者訓練関係】

○ オンライン助成金説明会の参加事業所のうち、何社が助成金を申請したか（人材開発支援助成金を活用して在職者訓練を実施したか）のデータを教えてほしい。

→（対応方針等）・参加名簿を活用して追跡確認を行い、次回協議会で説明する（効果測定）

<対応方針>

○ ・参加名簿を活用して追跡確認を行い、次回協議会で説明する（効果測定） →以下のとおり確認

○オンライン助成金説明会参加事業所追跡確認（R6.9.6開催・参加事業所51社）

	計画書提出	支給申請書提出
人材開発支援助成金	5事業所 (うち新規2事業所)	10事業所
キャリアアップ助成金	3事業所 (うち新規3事業所)	6事業所
合計	8事業所 (うち新規5事業所)	16事業所

* 説明会開催後の動向

参考：オンライン助成金説明会について（前回資料より）

- ハローワークシステム・求人者マイページへ助成金活用や助成金説明会の案内を送信し広く周知。
- 助成金活用につながったケースや、定期的な開催を望む声があるなど、開催の効果があった。

○令和6年9月6日13:00～15:00(51社参加)

参加資料！

定員80社

人材育成と処遇改善(賃上げ等)

秋田労働局 助成金説明会


企業内における労働者のキャリアアップ(賃上げ及び処遇改善など)や、キャリア形成(人材育成)を行い、企業の持続的な発展と生産性向上を目指しませんか。

県内企業・事業所の方が対象です

令和6年9月6日(金) オンライン開催!(Zoom)

※受講に必要なPC等端末及び通信料は受講者の負担となります。
※各社接続するPC等端末は1台までです。ご協力ください。

スケジュール

13:00~13:10	(1)主催者挨拶と本日の流れ説明	
13:10~13:40	(2)業務改善助成金	生産性向上に資する設備投資等を行い、一定額以上の賃金を引き上げた場合にその設備投資などの費用の一部を助成
13:40~14:30	(3)キャリアアップ助成金	正社員化コース及び社会保険適用時処遇改善コース
14:30~14:40	(4)人材開発支援助成金	人材育成支援コース 人への投資促進コース
14:40~15:00	(5)県の奨励金等	秋田県就業氷河期世代正規雇用奨励金 秋田県若年女性正規雇用奨励金 秋田県リスクリング促進奨励金

参加申込み方法

下記予約フォームよりお申込みください。登録後、参加いただくのに必要な「ミーティングID」「パスワード」が自動送信されます。
https://jsite.mhlw.go.jp/form/pub/roudou05/202408_01_kunrenka

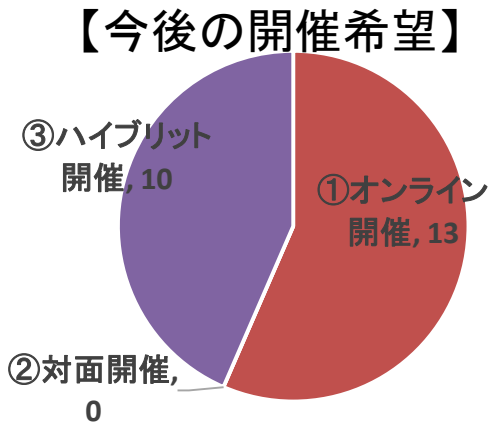
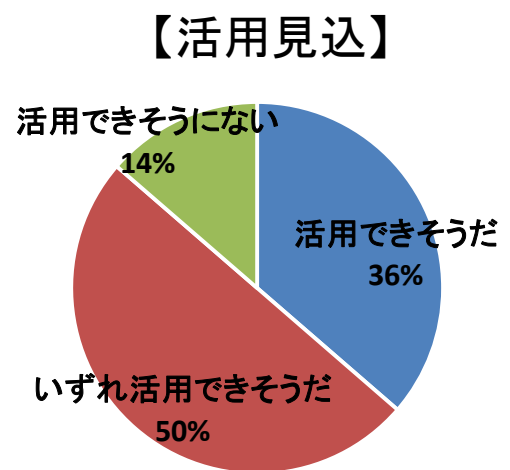
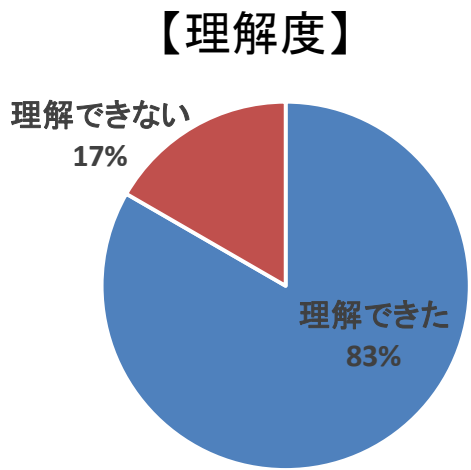
※申込期限は開催日の1週間前までとなります。
また、定員数に達した場合は、申込みを打ち切らせていただきます。

お問合せ先
秋田労働局職業安定部訓練課 ☎018-883-0006



アンケート集計結果

* アンケート回答24社



(4) その他の職業能力開発促進のための取組

<意見等>

【在職者訓練関係】

○ 助成金は添付資料を整えることのハードルが非常に高いが、不正受給を防ぐハードルは企業の倫理観に頼ることも多く、バランスが非常に難しいと思う。その説明には、ハイブリットで行うオンライン助成金説明会は使い勝手が良い。

<対応方針>

○ 今年度中にハイブリット開催によるオンライン助成金説明会を実施する(ハイブリット開催による対面会場をハローワーク秋田とする) → **以下のとおり実施**



助成金説明会(ハイブリッド開催)

- 開催日: 令和7年2月20日(木)
- 対面会場: ハローワーク秋田
- 参加事業所56社(うち対面4社)
- うち個別相談ブース利用
 - ・人材開発支援助成金1社
 - ・キャリアアップ助成金1社
 - ・生産性向上訓練関係1社

参加無料!

ハイブリッド開催(オンライン及び対面説明を同時開催)

秋田労働局 助成金説明会



課題

- ①「年収の壁」により、従業員の就業調整で労働力確保に困っている。
- ②人材育成・生産性向上により労働力不足を補う支援策を知りたい。



対策

- ①従業員と丁寧な対話を重ねた上でキャリアアップ助成金を活用した結果、就業調整をしていた従業員の労働時間が増加し、人手不足を解消した。
- ②人材開発支援助成金活用による在職者訓練後、生産性向上と定着に繋がった。



開催日時: 令和7年2月20日(木) 13:30~15:30

※以下の【対面実施会場】では、説明会終了後の個別相談も可能です(15:30~16:30)

【Zoomによるオンライン説明】.....**先着80社**

※受講に必要なPC等端末及び通信料は受講者の負担となります。
※各社接続するPC等端末は1台までです。ご協力ください。

【対面実施会場】ハローワーク秋田 2階会議室.....**先着20社**

(秋田市次島1丁目12-16)

※オンラインをご希望しない場合や、個別相談をご希望される場合は対面実施会場をご利用ください。

スケジュール

13:30 ~13:40	(1)主催者挨拶と本日の流れ説明	県内企業・事業所の方が対象です
13:40 ~14:30	(2)キャリアアップ助成金	社会保険適用時処遇改善コース及び正社員化コース
14:30 ~15:00	(3)人材開発支援助成金	人材育成支援コース 人への投資促進コース
15:00 ~15:15	(4)生産性向上に向けた人材育成 ~ポリテクセンターによる生産性向上支援訓練~	「ポリテクセンター秋田」より説明
15:15 ~15:30	(5)従業員の人材育成を支援 ~キャリアコンサルティングやキャリア研修~	キャリア形成・リスキリング支援センターより説明

【参加申込み方法】 下記の予約フォームよりお申込みください。

登録後、参加いただくのに必要な「ミーティングID」「パスワード」が自動送信されます。(定員数に達し次第、申込み受付終了となります)。

https://jsite.mhlw.go.jp/form/pub/roudou05/20250220_02_kunrenka

【お問合せ先】

秋田労働局職業安定部訓練課

☎018-883-0006



予約フォーム
二次元コード

(4) その他の職業能力開発促進のための取組

<意見等>

【教育訓練給付制度】

- 今回のアンケート結果の制度の認知度4割について、労働者本人へ直接周知することが難しいため、事業所経由で労働者へ提供する方法を検討いただきたい。

<対応方針>

- SNSやホームページなどの広報に加えて、助成金、教育訓練給付制度など各種支援策を直接事業所へ周知する（ハローワークシステム・求人者マイページの活用） →資料No.3～P.18-5(3)

(5) 地域職業訓練実施計画の策定方針(次年度計画に関すること)

<意見等>

- 今年度の秋田県職業訓練計画には、介護やITは入っているが、建設土木関係もミスマッチがあって困っているため、建設業が女性登用やIT化を進めていることを踏まえた訓練内容も入れられたら良いと思う。

→資料No.3～P.6-2(1)ウ

- 介護分野ではコミュニケーションが大事であるとした分析結果なども計画に入れられたら良い。

→資料No.3～P.9-3(1)、→資料No.3～P.12-4(1)ア②

- より良い人材育成により、事業主と労働者どちらも満足できる訓練実施計画としていただきたい。

<対応方針>

- 各種課題の解決に向けて、令和7年度職業訓練実施計画へ反映させるとともに、計画案については、次回協議会で議論いただく。